

保健環境研究所創立50周年記念号発刊に寄せて



福岡県環境部長 井上 研一郎

このたび、福岡県保健環境研究所が、創立50周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

顧みますと、昭和24年10月、「福岡県衛生研究所」が福岡市中央区に創立されて50年が経過しました。

この間、戦後の復興期から高度経済成長期へと社会情勢が変化し、公害問題が顕在化するとともに、衛生研究所も公害分野の充実が図られ、昭和48年、公害監視機能を担う試験研究機関としての役割を強化、太宰府市に「福岡県衛生公害センター」と改称、移転新築されました。

深刻化する公害問題の解決を図るため、行政と一体となり、科学的・技術的中核機関としての機能を遺憾なく発揮され、公害行政の推進に多大な貢献をされた功績は高く評価されるところであります。

その後、生活排水対策、自動車公害や廃棄物対策など都市・生活型の環境問題の発生など、複雑、多様化する環境の諸問題に対処するため、平成4年4月、3部12課に組織の拡充改組を行うとともに「福岡県保健環境研究所」と名称を変更し、今日に至っているところであります。

さて、21世紀は「環境の世紀」といわれていますが、環境問題は私たちの生存に関わる最も重要かつ、緊急な行政課題となっています。

環境問題の解決を図るためには、資源を大量消費し、大量の廃棄物等を排出している私たちの生活や事業活動のあり様を資源節約型へと転換し、循環型社会を構築していくことが急務であります。ところで、今日の私たちの生活や事業活動はあらゆる点で科学技術を媒介にし支えられており、このことから、環境行政の推進を科学技術的側面から担っていく保健環境研究所の役割は大変重要になってきています。

また、地球温暖化などの地球規模の問題、外因性内分泌攪乱物質、いわゆる環境ホルモンなど新たな化学物質の問題等が発生している今日の環境問題の現状をみますと、保健環境研究所が有する優れた研究機能に対する期待は、益々大きなものとなっています。今後とも、本県における保健及び環境行政の科学的・技術的中核機関として、県政発展のために精励され、この50周年を期にさらなる充実、御発展をされるよう祈念するものであります。

最後になりましたが、関係各位に対しまして、これまでの御支援、御協力を感謝申し上げますとともに、今後とも環境行政に対する一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶といたします。

平成12年12月